

## 「JUIDA SCHOOL AWARDS2025」スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名）アスキムドローンスクール

・タイトル

未来を拓く、現場のプロを育てる - 株式会社アスキムの挑戦 -

### ・応募内容要旨

私たちは、ドローンを単に「飛ばす対象」として捉えていません。あくまでも、“現場の課題を解決するための「究極のツール」”であると考えています。

一昨年の実績では、UAV レーザ測量 49 回、写真測量 46 回、砂防点検（自立飛行）24 回でした。

私たちの使命は、ツールとしてのドローンの操縦方法を教えることではありません。そのツールを使って「何ができるのか」「どう問題を解決するのか」という、目的達成のための思考力と実践力を兼ね備えた「真のプロフェッショナル」を育成することです。

以下に私たちの取り組みを「独自性」「先進性」「創意工夫」「受講者視点」「安全教育」の5つの観点からご紹介します。

### ・アピールポイント

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

#### 1.独自性：技術者集団だからこそ提供できる「解像度」

私たちの最大の独自性は、測量、土木・建設業界の出身者が母体であることです。これにより、ドローンという「ツール」の表面的な使い方に留まらない、現場の「解像度」が高い、本質的な教育が可能です。

##### 【現場を知る講師陣】

講師は、ドローンの専門家であると同時に、土木・測量・インフラ点検のプロです。

「なぜそのデータが必要か」「その 1 ピクセルのズレが現場で何を意味するか」を熟知しており、ツールをいかに現場で有効活用するかに特化した指導を行います。私たちは「ドローンを飛ばすプロ」ではなく、“「ドローンでインフラを守るプロ」”を育てます。

##### 【「目的」から逆算した専門コース】

「UAV 測量コース」や「インフラ点検コース」は、単なる技術講習ではありません。「i-Construction を推進する」「老朽化した橋梁を診断する」といった明確な目的を達成するために、ドローンをどう活用すべきかを学ぶ、実践的なカリキュラムです。

##### 【多様なニーズに応える「パイロットコース」】

きめ細やかな指導と安心して学べる環境を提供することで、業界の多様性を推進し、新たな才能の発掘に貢献しています。

## 2. 先進性：現場ニーズに応える技術の社会実装

私たちは、技術を追いかけるのではなく、現場の明日を変える技術を実装することにあります。私たちは、ドローン技術の進化と社会の要請に応え、常に教育内容をアップデートしています。

### 【i-Construction への完全対応】

2018 年より「UAV 測量コース」を開始し、いち早く i-Construction/ICT 施工に対応。建設業界の生産性向上をリードしてきました。

### 【建設 DX を推進する人材育成】

2022 年には「ICT トレーニングセンター」を開設。ドローンだけでなく、より広範な ICT 技術を駆使して建設 DX を推進できる人材の育成にも力を入れています。

### 【国家資格制度も見据えた一貫した教育体制】

2024 年には「一等・二等無人航空機操縦士」の国家資格ライセンス講習機関として登録。JUIDA 認定資格を基盤に、国家資格まで一貫して学べるステップアップ環境を整備し、あらゆるレベルのプロフェッショナルを育成します。

### 【e ラーニングシステムの導入】

時間や場所の制約なく学べる e ラーニングを導入し、効率的な知識習得をサポート。多忙な社会人でも、自分のペースで学習を進められます。

## 3. 創意工夫：学びやすさと成長を最大化する仕組み

受講生の皆様がツールを使いこなす能力を最大限に高められるよう、教育方法に工夫を凝らしています。

### 【ハイブリッド学習の最適化】

座学は e ラーニングで各自が予習。これにより、限られた実技講習の時間を、ツールを意のままに操るためのフライト訓練に集中させ、習熟度を飛躍的に高めます。

### 【目的別の多彩なコースラインナップ】

趣味で始めたい方から、測量、点検のプロを目指す方まで、一人ひとりの「ツールを使って何をしたいか」という目的に合わせた最適なコースを選択できます。

### 【卒業後も続く「技術者としてのつながり」】

機体購入のアドバイスに留まらず、「この現場ではどのような設定で撮影すべきか」といった業務に直結する技術的な相談まで、建設コンサルタントとしての知見を活かして継続的にサポートします。

#### 4. 受講者視点：安心して学び、未来へ羽ばたくために

私たちは、受講生一人ひとりの立場に立ったスクール運営を徹底しています。

##### 【明確で誠実な情報提供】

ウェブサイトでは、各コースの料金、講習内容、取得できる資格を明確に提示。受講前の不安や疑問を解消します。また SNS などでも情報発信を積極的に行っています。

##### 【「学びたい」気持ちを応援する環境】

eラーニングシステムにより、受講生は自分のペースで何度も復習が可能です。実技では、経験豊富な講師が一人ひとりの習熟度に合わせて丁寧に指導します。また、広大なドローン専用フィールドを完備しており、周囲を気にすることなく、実践的なフライト訓練に集中できる理想的な環境を提供しています。

##### 【多様性への配慮】

性別や経験に関わらず、誰もが安心してドローン技術の習得に集中できる環境づくりを心掛けています。これは、すべての人が活躍できる業界の未来に貢献したいという私たちの信念です。

#### 5. 安全教育の視点：何よりも「安全」を最優先に

ツールがいかに優れていても、安全に使えなければ意味がありません。私たちは、JUIDA 認定スクールとして、最高水準の安全教育を提供します。

##### 【体系化された安全教育プログラム】

JUIDA のカリキュラムに基づき、航空法規、リスクアセスメント、気象学、機体の仕組みなどを体系的に学べます。

##### 【「安全運航管理者」の育成】

操縦者だけでなく、飛行計画の策定から現場の安全管理まで、運航全体を統括できる「安全運航管理者」の育成に力を入れています。これにより、組織全体の安全意識と管理レベルの向上に貢献しています。

##### 【実践的なリスク回避訓練】

実技講習では、起こりうる様々なトラブルを想定した緊急時対応訓練を実施。いかなる状況でも冷静にツールを制御し、安全を確保できるプロを育成しています。

##### 【現場の生きたリスク教育】

机上の知識だけでなく、講師である実務者が実際の現場で体験したリアルなヒヤリハット事例やリスクを共有することで、より実践的な安全意識を育んでいます。

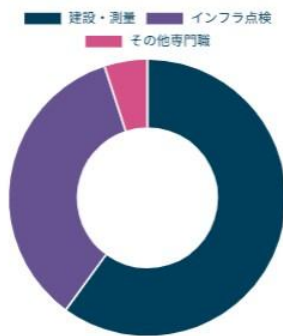
# 未来を拓く、現場のプロを育てる アスキムドローンスクールの挑戦

## 私たちは「ドローンでインフラを守るプロ」を育てます

私たちは、測量・建設コンサルタントとしての知見を活かし、ドローンを単なる飛行ツールではなく、現場の課題を解決する「究極のツール」として捉えています。私たちの教育は、常に「目的達成」に焦点を当てています。

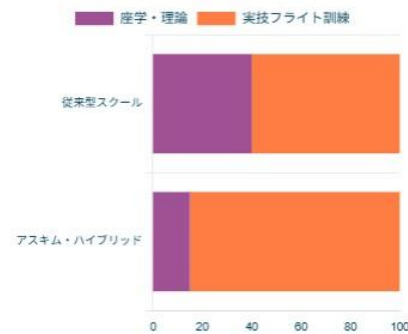
### 独自性：受講生の専門領域

私たちのスクールには、明確な目的意識を持つ専門家が集まります。これは、母体である測量・建設コンサルタントとしての信頼と実績の証です。



### 創意工夫：学習効果を最大化する仕組み

eラーニングと実技を組み合わせたハイブリッド学習により、フライト訓練時間を最大化。ツールの習熟度を飛躍的に高めます。



### 先進性：現場ニーズに応える技術実装の歩み

私たちは技術を追いかけるのではなく、現場の明日を変える技術を実装します。

ICTトレーニングセンター開設  
建設DXを推進する人材育成

2018

UAV写真測量コース開始  
I-Constructionの推進に貢献

2022

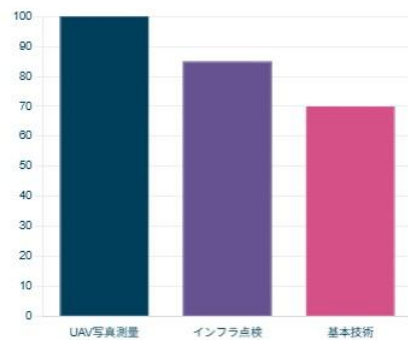
2024

国家資格ライセンス講習機関へ  
一貫したステップアップ環境を整備

# 未来を拓く、現場のプロを育てる アスキムドローンスクールの挑戦

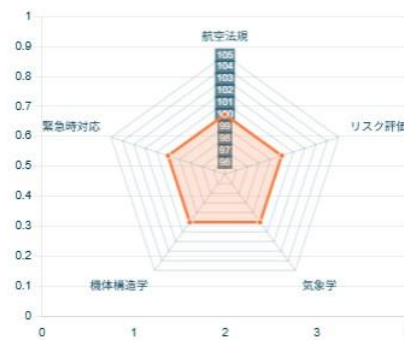
## 受講者視点：目的別のコース選択

「ツールで何をしたいか」という目的に合わせ、最適なコースを提供。プロへの道を具体的に描けます。



## 安全教育：体系化されたプログラム

ツールを安全に使いこなすことが大前提。JUIDA基準に基づき、リスク回避能力を徹底的に鍛えます。



## 受講者視点：充実した学習環境

広大なドローン専用フィールドを完備しており、周囲を気にすることなく、実践的なフライト訓練に集中できる理想的な環境を提供しています。

アスキムドローンスクール

※インターネット等の掲載では銀行よりオファーが有りテレビ放映が有りました。

YouTube タイトル：志、情熱企業 | 2024 年 5 月 25 日 アスキム株式会社（筑紫野市永岡）

<https://www.youtube.com/watch?v=tGTsFtkb3vc>